

# 福島第一原子力発電所事故に係る 特別調査結果の概要について

平成28年2月24日(水)

茨城県東海地区環境放射線監視委員会

# 1. 環境放射線の測定結果

## (1) 航空機モニタリング(原子力規制庁)

### <平成27年度航空機モニタリング>

- 測定時期  
平成27年9月12日～11月4日
- 測定範囲  
福島第一原子力発電所から80km圏内  
及び80km圏外(福島県, 宮城県, 茨城県,  
栃木県, 群馬県, 岩手県南部, 山形県東部  
千葉県北部, 埼玉県東部)
- 測定結果
  - ・空間線量率は, 平成27年11月4日時点で補正
  - ・茨城県内の空間線量率は, 県北沿岸及び  
県南地方でやや高めであった。

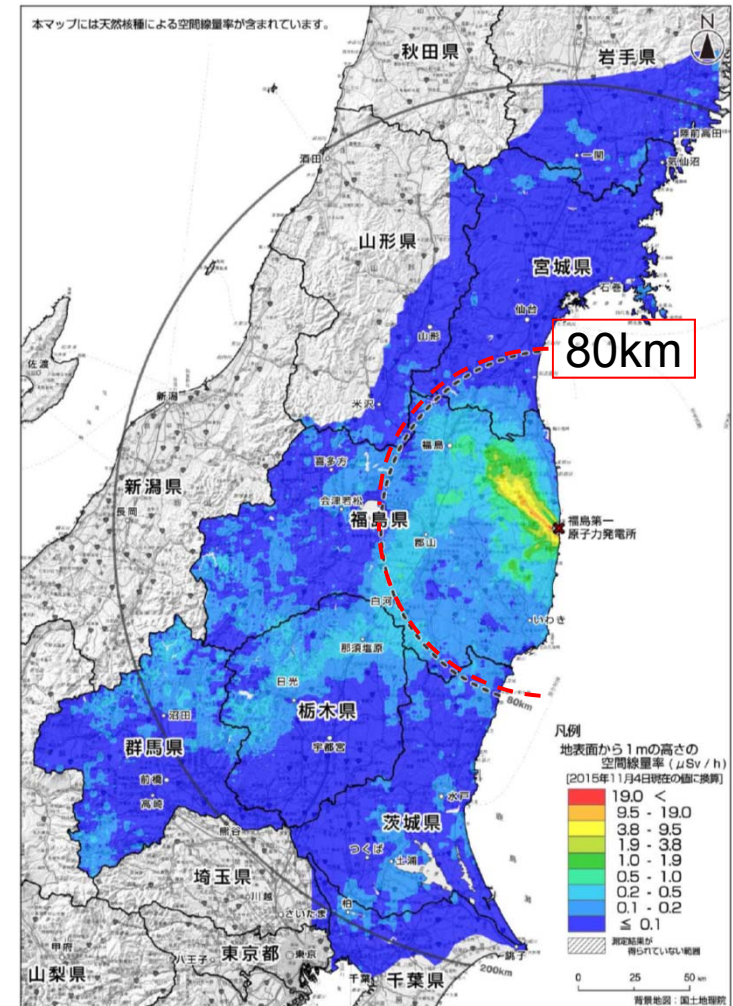


図 航空機モニタリングの結果  
(地表面から1m高さの空間線量率)  
(平成27年11月4日の値に換算)

## (2) 空間線量率

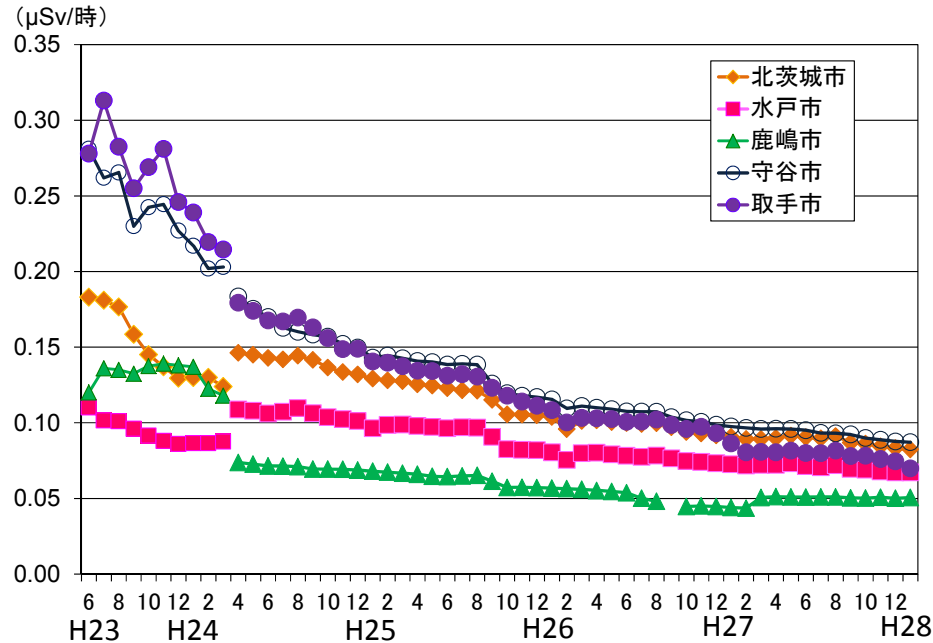


図 平成23年度以降に測定した1m高さの空間放射線量率の変動(H28.1まで)

【備考】

- ・H23.6～H24.3は、可搬型モニタリングポストまたはサーベイメータで測定
- ・H24.4から全ての地点でモニタリングポストによる測定を開始  
これに伴い、一部の測定地点を移動
- ・鹿嶋市のH26.9は、モニタリングポスト点検のため、欠測
- ・常総市は、平成27年9月関東・東北豪雨による浸水により、機器が故障したため、9月10日から欠測
- ・水戸市(県庁)の1月31日の値は、県庁舎の定期点検に伴う停電により、測定を停止したため、測定再開後の16時40分の値を記載

表 空間線量率の最大値(H28.1.31)

	市町村	空間線量率 ( $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )
最大	守谷市	0.085

(単位:  $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

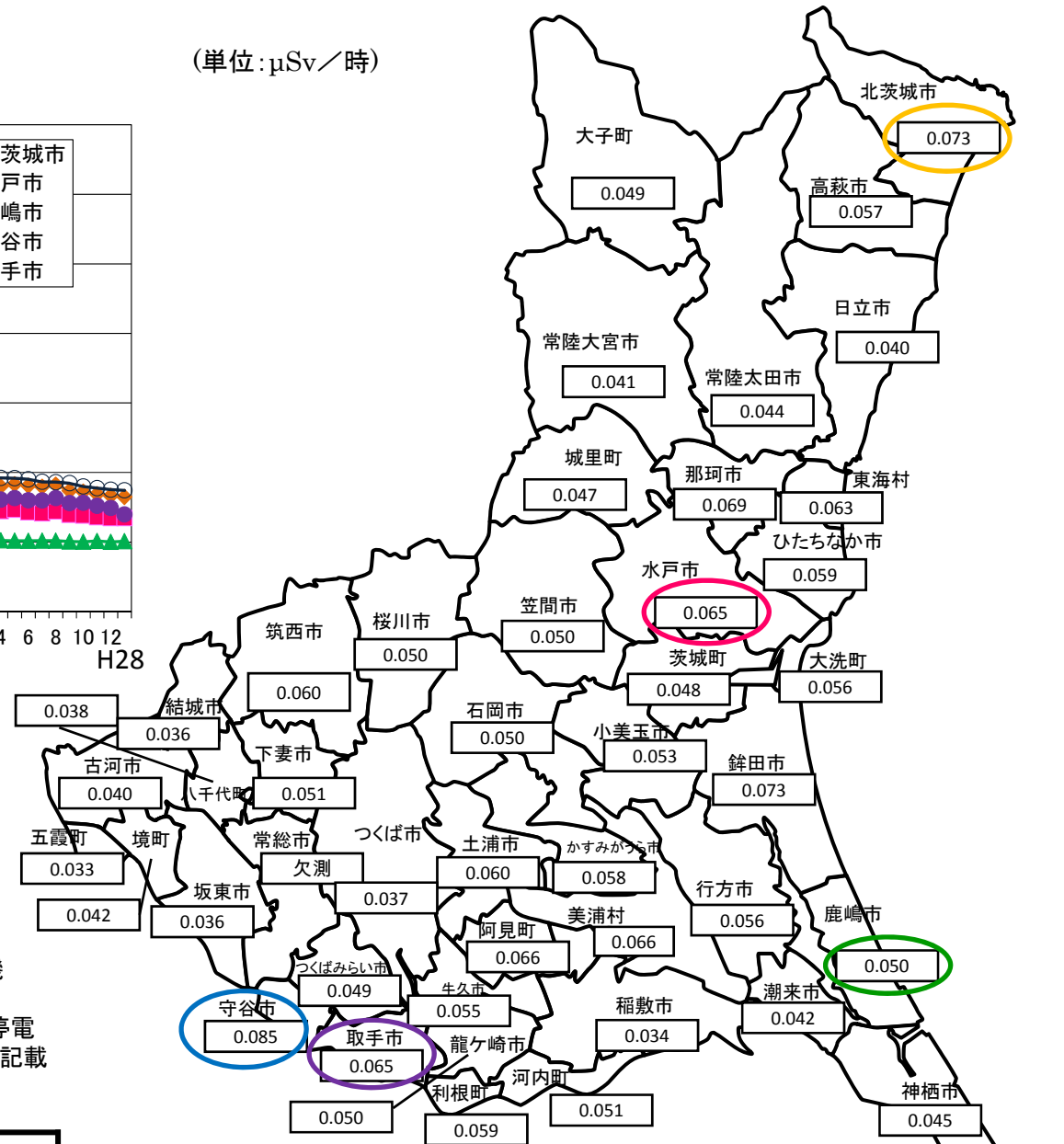


図 全市町村空間線量率(地上1m)測定結果 (H28.1.31正午)

## 2. 海水・海底土の測定結果(原子力規制庁実施)

- 測定期間 : 平成23年5月  
~ 平成27年11月
- 対象地点数 : 茨城県沖約10~40km  
10地点
- 測定結果

表 海水測定結果(平成27年11月)

	$^{134}\text{Cs}(\text{Bq/L})$		$^{137}\text{Cs}(\text{Bq/L})$	
	結果	過去最大	結果	過去最大
表層	ND-0.00035	0.11(H23.9.8)	0.0020-0.0028	0.13(H23.9.8)
下層	ND-0.00051	0.068(H23.9.7)	0.00077-0.0032	0.085(H23.9.7)

※ ND ; 検出下限値未満(0.001Bq/L程度)

表 海底土測定結果(平成27年11月)

	$^{134}\text{Cs}(\text{Bq/kg}\cdot\text{乾土})$		$^{137}\text{Cs}(\text{Bq/kg}\cdot\text{乾土})$	
	結果	過去最大	結果	過去最大
海底土	0.35-31	440(H23.9.8)	1.7-130	520(H23.9.8)

※ ND ; 検出下限値未満(1Bq/kg・乾土程度)

【備考】

・「過去最大」は、現在の測定方法となった平成23年9月以降の調査で観測された最大値を記載。

【参考】原発事故以前の最大値(平成元年以降の県環境放射線監視計画に基づく測定結果)

・海水  $^{134}\text{Cs}$ :ND(0.004Bq/L),  $^{137}\text{Cs}$ :0.0048Bq/L,  $^{90}\text{Sr}$ :0.0051Bq/L

・海底土  $^{134}\text{Cs}$ :ND(0.4Bq/kg・乾土),  $^{137}\text{Cs}$ :4.7Bq/kg・乾土,  $^{90}\text{Sr}$ :0.41Bq/L

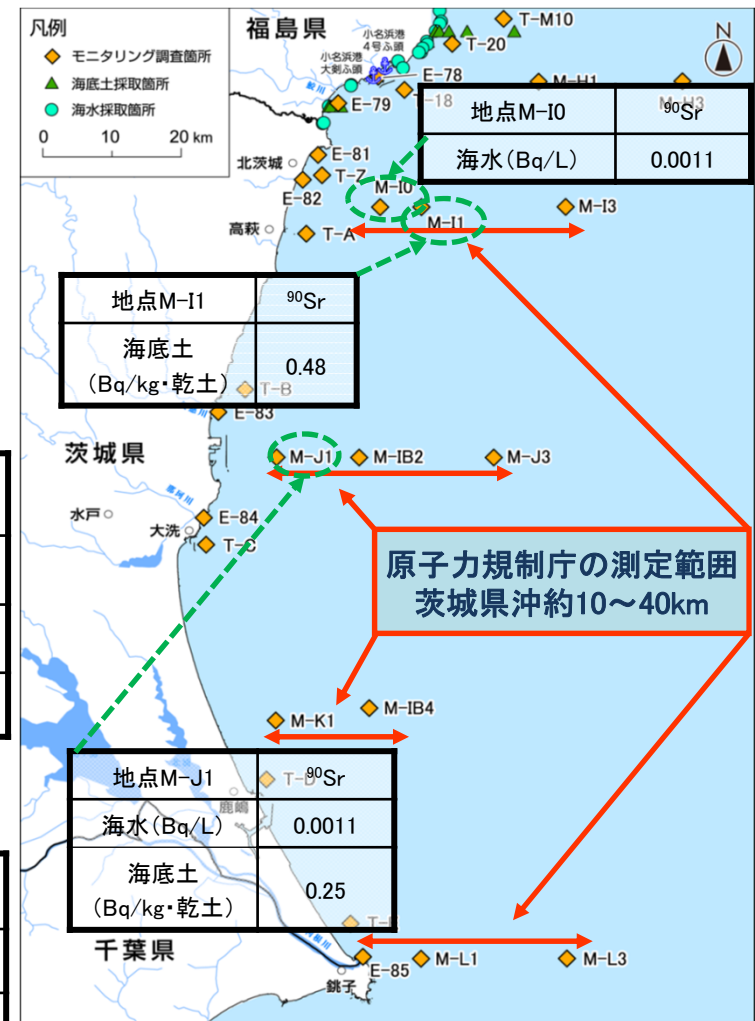


図 茨城県沖の海域モニタリング地点  
(平成25年4月以降)(出典;原子力規制庁等)

※  $^{90}\text{Sr}$ について、海水は平成27年8月の測定値

○  $^{90}\text{Sr}$ の過去最大(平成23年9月以降)

海水:0.043Bq/L(H23.10.14)

海底土:1.9Bq/kg・乾土(H23.9.8)



### 3. 公共用水域の水質・底質測定

#### (1) 茨城県内の河川・湖沼・ダム等の水質・底質測定(環境省実施)

- 測定期間 : 平成23年8月～平成27年11月
- 対象河川等数 : 77 河川・湖沼・沿岸域・ダム
- 測定回数 : 17回(14回※)

※ 括弧内はダムの測定回数平成24年10月から計14回実施

#### ○ 測定結果(第17回:平成27年11月)

##### 表 水質測定結果

	$^{134}\text{Cs}+^{137}\text{Cs}(\text{Bq/L})$	
	結果	過去最大
水質	ND	ND

※ ND ; 検出下限値未満(1Bq/L)

##### 表 底質測定結果

	$^{134}\text{Cs}+^{137}\text{Cs}(\text{Bq/kg乾土})$	
	結果	過去最大
底質	ND～2,730	5,800(H24.2.21)

※ ND ; 検出下限値未満(10Bq/kg)

##### 【備考】

- ・「過去最大」は、平成23年8月以降の調査で観測された最大値を記載。
- ・藤井川ダム・第16回及び17回については、草木等の堆積のため、底質を採取できず。

##### 【参考】原発事故以前の最大値(平成元年以降の県環境放射線監視計画に基づく測定結果)

- ・水質  $^{134}\text{Cs}$ : ND(0.004Bq/L),  $^{137}\text{Cs}$ : ND(0.004Bq/L)
- ・底質  $^{134}\text{Cs}$ : ND(1Bq/kg・乾土),  $^{137}\text{Cs}$ : 1.5Bq/kg・乾土

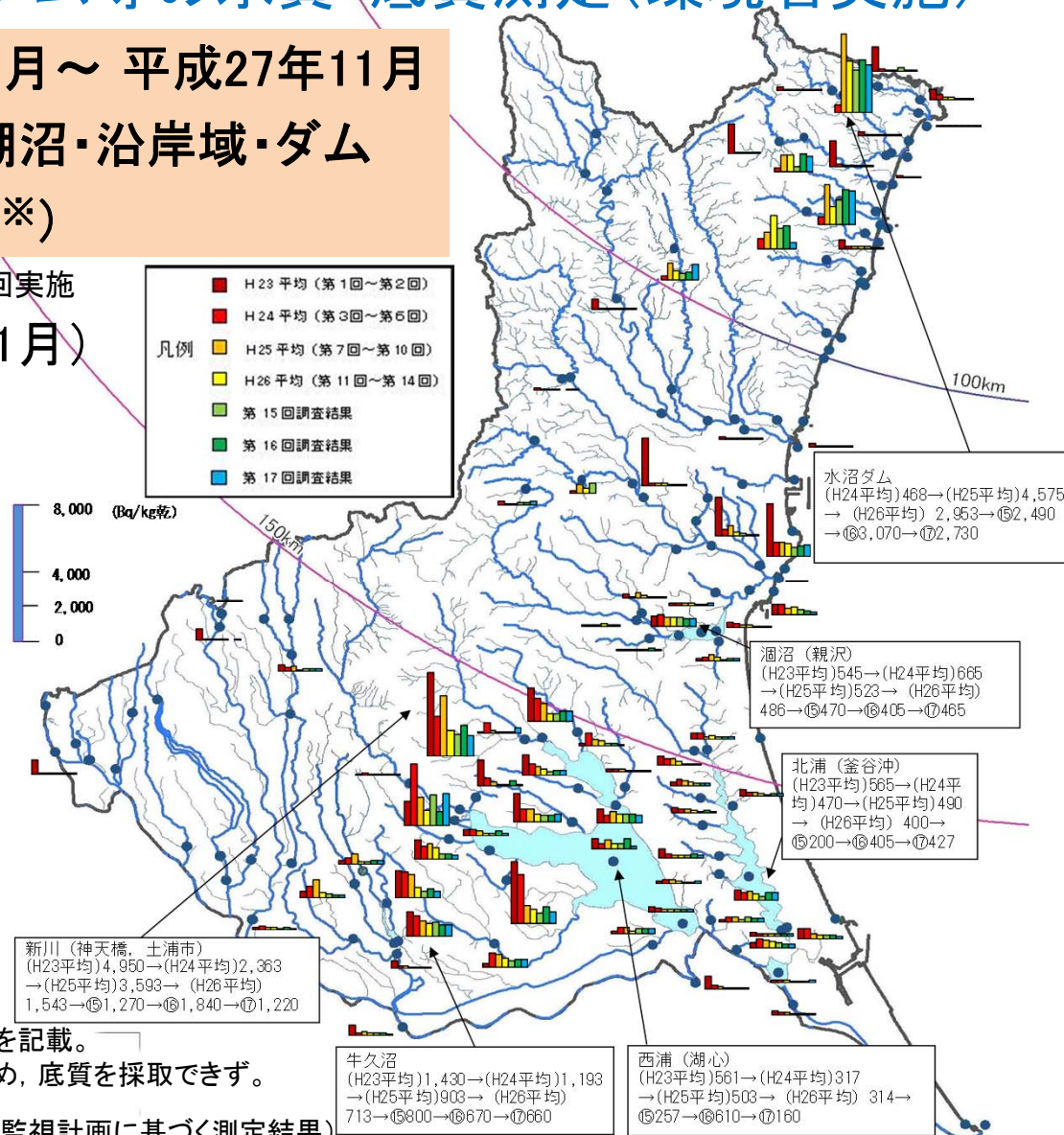


図 公共用水域等の放射性物質モニタリング調査結果 (底質の放射性セシウム濃度) 出典:県環境対策課 5

## (2) 霞ヶ浦流入河川及び湖内の水質・底質測定(環境省・県実施)

- 測定期間 : 平成23年8月～平成27年11月
- 対象河川等数 : 64河川・水路・霞ヶ浦湖内
- 測定回数 : 17回
- 測定結果(第17回:平成27年11月)

表 水質測定結果

	$^{134}\text{Cs}+^{137}\text{Cs}(\text{Bq/L})$	
	結果	過去最大
水質	ND	ND

※ ND ; 検出下限値未満(1Bq/L)

表 底質測定結果

	$^{134}\text{Cs}+^{137}\text{Cs}(\text{Bq/kg乾土})$	
	結果	過去最大
底質	45～1,830	5,800(H24.2.21)

※ ND ; 検出下限値未満(10Bq/kg)

【備考】

・「過去最大」は、平成23年8月以降の調査で観測された最大値を記載。

【参考】原発事故以前の最大値(平成元年以降の県環境放射線監視計画に基づく測定結果)

- ・水質  $^{134}\text{Cs}$ : ND(0.004Bq/L),  $^{137}\text{Cs}$ : ND(0.004Bq/L)
- ・底質  $^{134}\text{Cs}$ : ND(1Bq/kg・乾土),  $^{137}\text{Cs}$ : 1.5Bq/kg・乾土

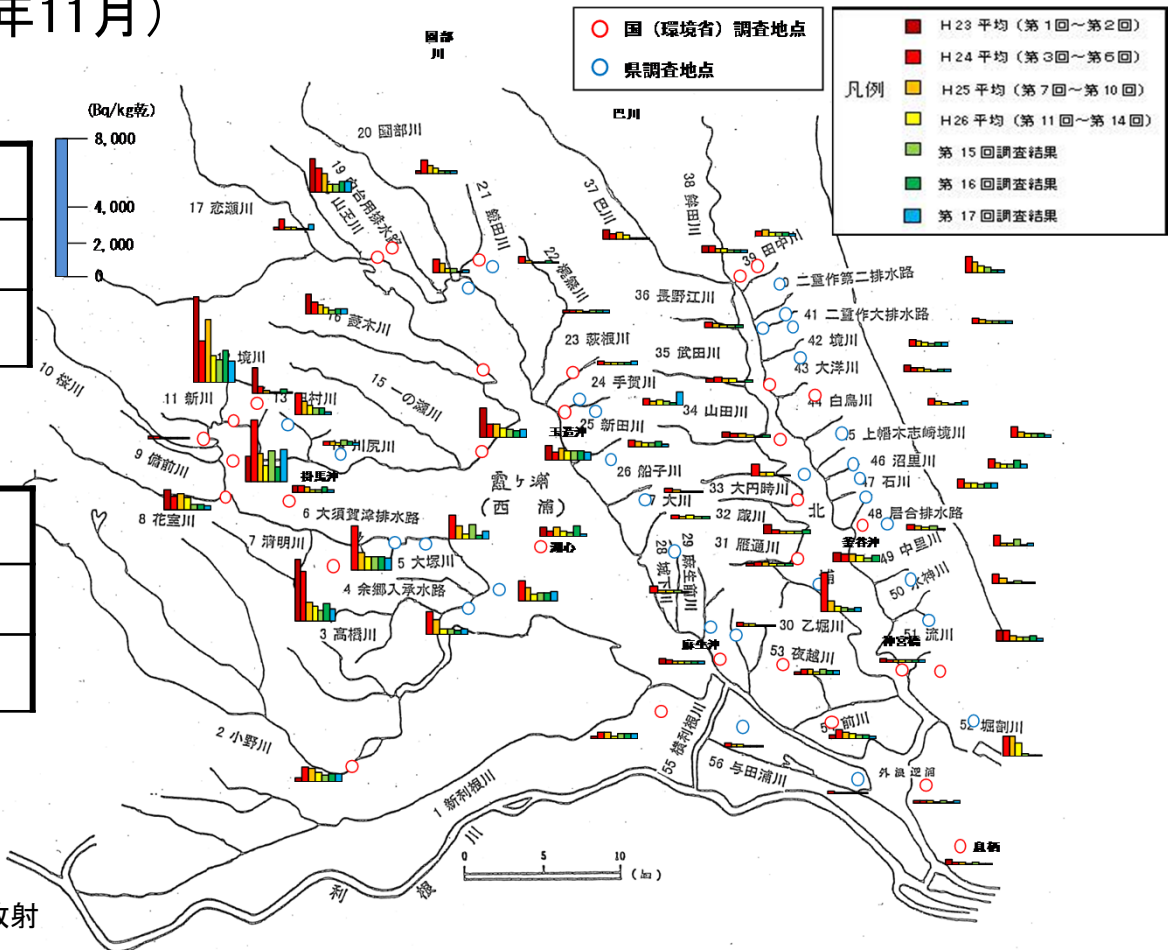


図 霞ヶ浦流入河川の底質の放射性物質モニタリング調査結果(底質の放射性セシウム濃度) 出典; 県環境対策課

# 4. 農畜水産物の出荷制限, 自粛, 解除の状況

## (1) 測定状況(平成28年2月1日現在)

- 対象 : 穀類, 野菜類, 畜産物, 魚介類, 茶等
- 品目数(検体数) : 311 品目(約132,000 検体)

## (2) 出荷制限・自粛等の状況(平成28年2月9日現在)

	出荷制限・自粛を行っている品目		平成27年度の 放射性セシウム 測定結果(Bq/kg) ※平成28年2月1日現在	これまで出荷制限・ 自粛となった品目数	過去最大値 ※平成23年3月以降	
	品目数	品目				
農産物	野菜類	0	-	N.D.~20	3(全て解除)	放射性セシウム:2,110
	特用林産物	6	原木シイタケ, タケノコ, こしあぶら(野生), 野生きのこ(菌根性きのこ類), 乾シイタケ, たらのみ(野生) ※いずれも一部市町村	N.D.~78	7(1品目で解除)	放射性セシウム:8,000
	茶	0	-	N.D.	1(全て解除)	(茶葉)放射性セシウム:1,030 (飲用茶)放射性セシウム:19
畜産物	0	-	-	N.D.~20.6	1(全て解除)	放射性セシウム:420
野生鳥獣の肉類	1	イノシシ肉 ※県内全域(石岡市は全頭検査にて出荷可能)	石岡市:13~85 石岡市以外:N.D.~180	1	放射性セシウム:1,040	
魚介類	海産	8	イカナゴ親魚(メロウド), アカシタビラメ(北部), クロメバル(県央), キツネメバル(北部, 南部), マルアジ(南部), クロソイ(北部), クロダイ(北部), アカエイ(県央)	N.D.~39	28(20品目で解除)	放射性セシウム:1,374
	内水面	2	アメリカナマズ, ウナギ ※いずれも一部河川等で採捕されたもの)	N.D.~68	6(4品目で解除)	放射性セシウム:330

【備考】放射性セシウム(<sup>134</sup>Cs, <sup>137</sup>Csの合計)の基準値  
飲料水;10 Bq/kg, 牛乳;50 Bq/kg 一般食品;100 Bq/kg, 乳児用食品;50 Bq/kg

### ● 出荷制限・自粛及び解除の状況(平成27年8月17日以降)

- ◆ 出荷制限解除: 9月11日 タケノコ(東海村), 10月2日 イシガレイ(県北海域), コモンカスベ, シロメバル, タケノコ(石岡市),  
1月14日 スズキ, タケノコ(龍ヶ崎市) 2月9日 ウナギ(霞ヶ浦, 北浦, 外浪逆浦及び常陸利根川)
- ◆ 出荷自粛等解除:8月20日 原木シイタケ(笠間市一部), 10月2日 タケノコ(稲敷市, 阿見町) 10月9日 原木シイタケ(日立市一部)